

# SlackBot プログラム作成の報告書

2020/6/24

三宅 貴義

## 1 はじめに

本資料は、2020 年度 B4 新人研修課題である SlackBot プログラム作成の報告書である。

## 2 作成した機能

作成した SlackBot プログラムは以下の 3 つの機能を持つ。

### (1) 文字列を返信する機能

ユーザが“(文字列) と言って”と投稿した際に、“(文字列)”と返信する機能。

### (2) 郵便番号を住所に変換する機能

ユーザが“(郵便番号) の住所”と投稿した際に、(郵便番号) を対応する住所に変換して返信する機能

### (3) コンビニを検索する機能

ユーザが“(住所) のコンビニを (件数) 件検索”と投稿した際に、(住所) の近くにあるコンビニの名前と Google Map の URL を (件数) 分返信する機能

## 3 理解できなかった部分

本課題を進めていく中で、理解できなかった部分を以下に示す。

### (1) sinatra の仕組み

SlackBot プログラムは Web アプリケーションフレームワークである sinatra を用いて動作している。これがどのような仕組みなのかが理解できなかった。

## 4 作成できなかった機能

作成できなかった機能を以下に示す。

### (1) 検索したコンビニの画像や、画像の URL を返信する機能

## 5 自主的に作成した機能

課題として提示されていないが，自主的に作成した機能を以下に示す．

- (1) プログラム作成者以外の Slack アカウントから SlackBot サーバへ POST された際に，返信をしない機能
- (2) 投稿をしたユーザへのメンションをつけて，返信する機能

## 6 おわりに

本資料では，SlackBot プログラム作成の報告を行った．